

本時のねらい

- ・話題や展開に沿って話し合いをつなげるためのポイントをグループディスカッションで活用することを通して、話し合いが深まっていくことを実感する。
- ・話し合いのこつ働きや効果について、自分の考えをまとめることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・前時に提出したロイロノートを共有することで、話し合いのポイントについてふりかえることができる。
- ・グループディスカッションをタブレットで録音することで、各自で聴いて分析することができる。
- ・ロイロノートを活用して分析することで、班全員で比較・整理をして、全体共有をスムーズに行うことができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・録音機能
- ・カメラ機能
- ・授業支援ソフト（ロイロノート）
- ・シンキングツール

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りを行う。 ○めあて「話し合いのこつを活用し、話し合いを深めよう」 〈話し合いのこつ〉 ・提案 ・質問 ・確認 ・促し 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に交流した内容を(ロイロノートで提出されたキーワードを並べて整理した画面)を大型モニターで提示し、話し合いのこつについて復習する。 ○めあても大型モニターで提示する。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いのこつを活用して、2度目のグループディスカッションを行う。(テーマは、『空中ブランコ乗りキキ』に副題をつけるなら?) 【写真1】 ○各自で録音を聴いて分析を行う。(分析シートに記入) ○各自で2度の分析をもとに比較する。 ○こつを意識する前と後の変化を考えさせる。 【写真2】 ○班で各自の分析を交流し、まとめたベン図を提出する。 ○班の意見を全体で交流する。 【写真3】 ○振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いのこつの画面を大型モニターで再提示していつでも見られるようにする。 ○話し合いを各自のタブレットで録音する。 ○指導者が分析シートの好事例を机間観察しながら撮影し、大型モニターに提示して紹介する。 ○ロイロノートのシンキングツール(ベン図)を利用し、班で交流し考えをまとめ整理させる。 ○発表の際に、ベン図を大型モニターで写し全体で共有を図る。 ○ロイロノートのアンケートに記入させる。
まとめ (5分)		

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】こつを意識して録音しながら、グループディスカッションをしている場面



【写真2】2回分の分析を比較して、シンキングツールに自分の考えをまとめている場面



【写真3】各班で意見交流して作成したベン図を大型モニターに提示して班代表が説明し、全体で共有している場面

児童生徒の反応や変容

- ・録音を聞いて、グループディスカッションを分析することで、話し合いのこつがどのような効果をもたらしているか、より深く理解していた。
- ・また、2度のグループディスカッションをベン図で比較することで、変化が可視化され、自分たちの成長を感じることができていたように思う。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・授業を計画する際は、生徒につけたい力を自分の中で明確に持ち、どこでICT機器を使用すれば効果的かを考えている。
- ・今回は「話し合いを深める力」をつけるために、話し合いのこつを意識する前と後を比較するツールとしてICTを活用した。